



平成29年第1回定例会 予算審査特別委員会 質問

## 一般介護予防事業の取り組み ～チェックツール・予防体操～

平成 28 年度から介護予防・日常生活支援総合事業を開始し、地域の支え合いの地域づくりを進め、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよく働きかける介護予防を推進しています。

7 項目で元気をチェック「いきいきセブンチェック」、区オリジナルの介護予防体操「KOTO 活き粋体操」を開発。区議会公明党としても主張し推進してまいりました。

是非お試しください。

## 平成 29 年度江東区予算決まる！

いつも大変お世話になります。

第 1 回定例会が平成 29 年 2 月 21 日から 3 月 30 日まで開催され、平成 29 年度予算が決まりました。「夢へカウントダウン、新たなステージへのチャレンジ予算」として、一般会計 1,996 億で特別会計を含め、3,033 億となり、区政史上初の 3,000 億円台となりました。公明党主張が様々な形になりました。(裏面参照) 予算審査で右表の質問をしました。

### <予算審査特別委員会の質問事項>

#### 1. 歳入 第 12 款～第 21 款について

- (1) 豊洲西小学校地域開放施設使用料について
- (2) 放置自転車撤去手数料について
- (3) 撤去自転車売却収入について

#### 2. 衛生費・産経費について

- (1) 江東ブランド推進事業について

#### 3. 土木費について

- (1) 区営住宅維持事業について
- (2) お部屋探しサポート事業について

## 区民相談、法律相談は、お気軽に(区役所 3 階公明党相談室にて)



「みんなが笑顔で住めるまち・江東区」を目指して

皆様のお声をしっかり受け止め、全力で取り組んでまいります！

やつぎ こうじ (矢次 浩二)

江東区議会議員

連絡先: 080-9804-9744

メールマガジン登録者募集中!

### 法律相談

原則、毎月第 2・4 金曜日に当日受付順で午後 2 時から開催します。

5 月 12・26 日、6 月 9・23 日、7 月 7・21 日 (予定)、8 月は休止。

9 月 8・22 日 (予定) ※7 月、9 月予定は変更の場合があります。



予算  
措置

## 区議会公明党の主張が様々実現！（一部抜粋）

## 1. 防災・街づくりについて

公明  
要望

区内標識等の整備促進(ユニバーサルデザイン・バリアフリー・多言語・統一化・暑さ対策)

区

公共サイン(公共施設等案内板)統一化に向けたガイドラインと、再配置に向けた整備計画を策定する。

公明  
要望

住宅密集地域の道路拡幅、グリーンベルト化、防災公園・防災空地の確保と防火水槽の設置

北砂三・四・五丁目地区不燃化の着実な進展。この取り組みを活かした区内の木造密集地域の不燃化の推進

区

不燃化特区(北砂三・四・五丁目地区)内に、地域防災に資する公園を整備する。

不燃化特区指定後、初めての公園整備(ハード事業)となる。まちづくり協議会をはじめ、地域とともに公園づくりを進める。

◆公園概要について

場所は、旧小名木川保育園跡地(北砂5-21-5)。規模は約 1,156 m<sup>2</sup>。機能は意見を踏まえ、防火水槽、かまどベンチ、マンホールトイレ等を整備。

## 2. 子育て・教育について

公明  
要望

保育待機児童解消の更なる推進

区

長期計画に基づき必要な地域に認可保育所を整備することにより、待機児童の解消を目指していく。

国家戦略特区を活用し、都立木場公園内に保育所を整備する。

◆「都立木場公園内保育所」整備概要

所在地は、木場 4・5 丁目(木場公園 大横橋口北側)で、定員総数は 130 人。開設時期は、平成 30 年 4 月を予定。

## 3. 健康・福祉について

公明  
要望

思春期の心身の問題に対する相談体制の更なる充実

子ども・若者に関する総合相談の充実

区

悩める青少年たちに対し早期に支援の手を、青少年期の悩みに対するワンストップ相談窓口を設置し、青少年総合相談を毎週開設する。

◆相談窓口について

対象は区内在住・在学・在勤の概ね 15 歳から 40 歳未満までの方および保護者等で、ひきこもりの方や、不登校や友人・異性等の人間関係等に関する悩みを抱える方で、区役所本庁舎、青少年交流プラザ他、原則週 3 回、13 から 17 時まで。

公明  
要望

緊急通報システムの拡充

区

障がい者・高齢者施設に非常通報装置等の設置費用を補助、施設の防犯対策強化によって、利用者の安全の確保を図る。

公明  
要望

ICT(情報通信技術)を活用した高齢者見守り事業推進

区

高齢者の徘徊時に役立つGPS端末を導入し、高齢者の迅速な居場所特定と身元確認につなげる。

徘徊行動のみられる高齢者の身元確認に役立つ見守りステッカー・アイロンシールを配布する。地域における見守りネットワークの形成に役立てる。

GPS専用端末は、専用端末 84 台、専用靴 42 足、見守りステッカー・アイロンシールは各 2,100 セット。